

【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営理念に関して、実際にどこまで浸透しているか、理念に沿った取り組みが行われているかなど振り返る機会を設け更にステップアップを図りたい。	開所1年が経過したため、理念の更なる浸透を図るため、振り返りをミーティングを通して行う。	ふれあいグループで行っている事業所方針発表会(1年の振り返りと目標報告)にて新たに目標設定と振り返りを行います。また、定期的に独自で振り返りを行い、意識を高める。更に改善が必要であれば見直します。	12ヶ月
2		運営推進会議にて、地域包括の参加を促すことが出来ていたが、民生委員や市職員の参加を今後促していきたい。また、出席できないご家族への会議の内容の周知徹底を図る。	運営推進会議にて参加して頂いるよう、通知し参加を促す。更に参加しやすいよう会議もレクリエーションなど取入れます。	毎回手紙やFAXを用いて参加を促す。また、市職員にも参加して頂けるよう、平日の会議も試みる。また、毎月発送しているご家族の手紙に議事録も入れ会議の内容の周知を図ります。	12ヶ月
3		介護経験が少ない・ない職員がいるため、統一した介護や利用者様のニーズを上手に引き出せることが難しいこともある。	全体会議や定期的開催される社内研修に参加を促し、基礎知識向上に努めます。	現在行っている3大介護委員会を中心に職員の悩んでいるケア内容や方法の勉強会を開催し基礎知識の向上に努めます。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。